

企業特調

第〇〇号

受報者は内容に関しては絶対に秘密を厳守して下さい。
本調査に就いては損害賠償の責を負いません。

「経営比率」の一般的な標準数値は次の通りである

	メーカー 建設	商社
● 資金繰り構成比率	100%以上	80%以上
● 資金準備比率	20%以上	15%以上
● 純金利負担限度比率	50%以下	50%以下
● 借入金月商対比	3.5ヵ月以下	3ヵ月以下
● 自己資本比率	20%以上	15%以上

商号	A(株)			住所	文京区●●1-2-3		
設立	昭和36年8月	資本金	12,345千円		代表者	山本 太郎	
決算	平成23年3月	業種	管工事業		従業員	123名	
売上	1,234,567千円		経常利益	△12,345千円		配当	0%
経営比	資金繰り構成比率	44.5%		借入金月商対比	3.4ヶ月		
	支払準備比率	8.2%		自己資本比率	9.0%		
	金利負担限度比率	営業損失		主力銀行	りそな(●●●)		
取引先	B社. C社. D社. E社. F社. G社. 【販売先】H社. I社. J社. K社. L社.						
所見	創業昭和●●年と●●年の業歴を誇る老舗管工事業者。 長年に渡り特定販売先に依存し主体性に欠ける経営体質で、ジリ貧経営が続くなか、体質改善の抜本策を打ち出せないまま、流れに身を委ねる無策で改善の兆しは見られず、企業体質は待ったなしの状況下に追い込まれている。						

商号	B(株)			住所	埼玉県越谷市●●1-2-3		
設立	昭和13年9月	資本金	123,456千円		代表者	鈴木 二郎	
決算	平成23年9月	業種	建材、鉄鋼二次製品加工		従業員	123名	
売上	1,234,567千円		経常利益	△123,456千円		配当	0%
経営比	資金繰り構成比率	非公開		借入金月商対比	非公開		
	支払準備比率	"		自己資本比率	9.9%		
	金利負担限度比率	"		主力銀行	三菱UFJ(●●●)		
取引先	A社. C社. D社. E社. F社. G社. 【販売先】H社. I社. J社. K社. L社.						
所見	業歴●●年を数える老舗企業。市況低迷から減収欠損が続くなか、〇〇期は東日本大震災の影響で操業の低下を余儀なくされ大幅欠損を計上、内部留保も一桁台となり財務体質は脆弱化。現況もジリ貧経営に歯止めが掛からないなか市中金融にも割手が出回っており注意を要す。						

※ 本情報は一覧後即時焼捨て願います。転載・複写・漏洩は厳禁となり御違背の場合は、当社規定により損害賠償の責を負って頂く事があります。当社は損害賠償の責は負いません。